

実施年度	実施機関	対象道路	対象箇所	箇所特性	診断員	オブザーバー	実施回数、内容	対策メニュー案（診断員提案）	対策図	対策効果	備考	道路安全診断小委員会 とのかわり
平成25（2013）	千葉県道事務所 交通対策課	幹線道路	国道126号 ・坂月交差点 ・宮田交差点	路線を抽出（国道126号）した後に、特徴的な交差点形状であること、交通事故発生状況等を踏まえて選定	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	-	第1回：現地診断 第2回：要因分析、対策立案	（坂月町交差点） ・交差点コンパクト化 ・視線誘導、ドットライン延伸、路面標示、カラー舗装、看板設置 ・信号サイクル、信号機の視認性、案内看板移設 ・右折専用車線設置（宮田交差点） ・交差道路取付形状 ・標識位置、看板撤去、標識内容 ・市道一方通行化 ・巻込み改良、横断歩道前出し ・クリアランス時間短縮			交通工学研究会として初めての取り組み	有り
平成26（2014）	千葉県道事務所 交通対策課	幹線道路	国道51号 ・寺台インター交差点 ・上本佐倉交差点 ・並木交差点	出張所ヒアリングより事務局が候補箇所を抽出し、国道51号から選定	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	交通管理者	第1回：診断箇所の選定、カルテ・チェックリストの確認 第2回：現地診断、診断実施箇所の選定 第3回：要因分析、対策の方向性検討 第4回：現地診断、対策案の確認 第5回：対策案の確認、運営方法の課題整理	（寺台インター交差点） ・案内標識の変更 ・カラー舗装 ・車線運用変更（上本佐倉交差点） ・停止線前出し、横断歩道の形状変更 ・予告標識設置、交通島形状変更 ・取付道路の形状変更 ・案内標識内容変更、右折車線長見直し（並木交差点） ・下り線の線形改良 ・信号現示の分離	令和2年度 第2回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000827605.pdf 第1回JSTEシンポジウム http://www.jste.or.jp/anzen/files/01-02.pdf 道路安全診断ガイドライン（案） http://www.jste.or.jp/anzen/files/anzen_guideline.pdf	（並木交差点） ・信号現示変更後、事故総数は約6割減少 ・対自転車事故はR1以降減少傾向 ・対歩行者事故は未発生	並木交差点については、対策前後の事故率を比較し対策効果が発現していない箇所を抽出（H29に診断結果を受けた対策完了） 寺台インター交差点、上本佐倉交差点は事故危険箇所の選定基準に該当していないため経過観察中	有り
平成26（2014）	千葉県道事務所 交通対策課	生活道路	千葉市 鶴沢地区	ケーススタディとして実施	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	交通管理者 道路管理者	第1回：診断箇所の選定、カルテ・チェックリストの確認 第2回：現地診断、診断実施箇所の選定 第3回：要因分析、対策の方向性検討 第4回：運営方法の課題整理	・ゾーン30エリアを明確にする（舗装・マーキング等） ・千葉市内のゾーン30共通化・標準化（色など）			道路安全診断を生活道路に導入する場合の手法を検討するために実施（ケーススタディ）	有り
平成27（2015）	千葉県道事務所 交通対策課	幹線道路	国道16号 請西交差点	webアンケートのヒヤリハットと、ETC2.0プローブ情報急ブレーキ発生箇所を照合	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者	第1回：診断箇所の抽出 第2回：現地診断、診断箇所の選定、要因分析 第3回：現地診断、対策の方向性検討 第4回：対策内容の確認	・取付道路の通行規制（一方通行化もしくは左折流出のみ） ・交差点内の導流の改良	平成27年度 第2回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742384.pdf	引き続き、試行の位置づけ	有り	
平成27（2015）	千葉県道事務所 交通対策課	生活道路	蘇我駅東南地区	生活道路事故データを用いてメッシュを抽出	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 道路管理者	第1回：現地診断、要因分析 第2回：対策方針検討 第3回：現地診断、対策方針案の検討 第4回：対策内容の確認	・道路幅員の再配分 ・自転車通行空間の整備 ・横断防止策の設置 ・二段階横断施設の設置 ・歩行者・自転車用の信号設置 ・狭さく、ハンプの設置 ・歩行者空間の確保 ・小学校周辺の一方通行化、時間帯による進入禁止規制の実施 ・路線橋を除く大型車規制 ・歩車分離式現示への変更	平成27年度 第2回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742384.pdf	道路安全診断を生活道路に導入する場合の手法を検討するために実施	有り	
平成28（2016）	千葉県道事務所 交通対策課	幹線道路 （新設）	国道51号 大柴拡幅	新設道路の監査地区として、事業中箇所を選定	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者	第1回：事業概要、現地写真確認、安全診断のポイント整理 第2回：現地診断 第3回：設計に対する改良案検討 第4回：改良案とりまとめ	・分流方式の変更（直接式） ・分流部の車線数を2車線化 ・分流ノーズ～合流ノーズ間で車線を絞り込み ・オフランプが合流後、右折車線を付加する ・町道での歩道（通学路）の確保 ・BP開通後、旧道幅員の再配分を行い、通過交通対策を実施 ・歩道を車道に沿わせて設置することにより、スムーズな動線とする ・沿道の病院へのアクセスに配慮、安全性の確保に配慮 など	平成28年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742381.pdf		千葉県道事務所より新設道路への道路安全診断の適用依頼により試行用地取得実施中	有り
平成28（2016）	千葉県道事務所 交通対策課	生活道路	船橋市 習志野台地区	国土交通省が選定した「生活道路対策エリア」から選定	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者	第1回：事業の概要説明 第2回：現地診断 第3回：課題の整理、提言の方向性検討 第4回：提言内容検討	（習志野台地区） ・ハンプ、スムーズ横断歩道設置 ・自転車ナビライン設置 （習志野台8丁目地区） ・外周道路に付加車線設置 ・交差点ハンプ設置 ・横断歩道の移設 ・カーブミラー設置、交差点内カラー化 ・路側帯カラー化、狭さく、路面標示設置	平成28年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742381.pdf 第1回JSTEシンポジウム http://www.jste.or.jp/anzen/files/01-02.pdf 道路安全診断ガイドライン（案） http://www.jste.or.jp/anzen/files/anzen_guideline.pdf	・速度の中央値が30km/hを下回る ・40km/h超過の危険走行割合が約80%減 ・流入交通量が13%減少	道路の拡幅、急勾配対策、生活道路の柵設置、横断歩道移設はR2に完了（習志野台8丁目地区） H29ハンプ設置（習志野台地区）	有り

実施年度	実施機関	対象道路	対象箇所	箇所特性	診断員	オブザーバー	実施回数、内容	対策メニュー案（診断員提案）	対策図	対策効果	備考	道路安全診断小委員会とのかわり
平成29（2017）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道16号 呼塚交差点～桜台交差点 区間	事故危険区間と主要渋滞箇所 に指定された箇所を有する連続した区間を選定	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者		・原付右折車の通行空間撤去 ・左折車線設置 ・右折車線形状を適正化 ・停止線の前出し ・横断歩道設置 ・交差点コンパクト化 ・歩道上の路面標示設置 ・従道路の区画線改良 ・車線の運用方法変更 ・減速路面標示、注意喚起設置	平成29年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742352.pdf		事故危険区間の削除候補箇所と新たに追加される区間が混在しており、連続した区間としての対策が必要な箇所	有り
平成29（2017）	千葉国道事務所 交通対策課	生活道路	鎌ヶ谷市 中央・南初富地区	国土交通省が選定した「生活道路対策エリア」から、対策意欲が高い鎌ヶ谷市を抽出	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者		・外周道路の渋滞緩和対策 ・生活道路に侵入する通過交通対策（流入を許容する経路選定、抑制する経路選定） ・地域内交通の処理（速度抑制、啓発活動）	平成29年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000742352.pdf		鉄道駅の高架化事業および駅前広場開発との関連して検討	有り
平成30（2018）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道14号 千葉西警察署入口交差点	実施済み事故対策の効果が小さい箇所、今後周辺の道路改良により交通環境の変化が想定される箇所	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：対象箇所の選定 第2回：現地診断、要因分析、追加調査・分析項目の確認 第3回：現地診断とりまとめ、追加分析の検討 第4回：対策内容の現地確認 第5回：対策とりまとめ	・横断歩道の垂直化、新規設置 ・右折ポケットの設置 ・右折車線の延伸 ・交差道路の行き先路面標示設置、線形見直し ・旧道対策	平成30年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000741823.pdf			有り
平成30（2018）	千葉国道事務所 交通対策課	生活道路	千葉市稲毛区 山王町地区	国土交通省が選定した「生活道路対策エリア」から選定	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：対象エリアの概要説明 第2回：現地診断、要因分析、追加調査・分析項目の確認 第3回：現地診断とりまとめ、追加分析の検討 第4回：対策内容の現地確認 第5回：対策とりまとめ	・外周道路の交差点改良 ・流入抑制対策（看板・ハンブ・ポストコーン設置） ・速度抑制対策（歩行者空間拡幅、シケイン設置、センターライン除去、グリーンベルト整備） ・出会い頭事故対策（歩車共存区間の新設、路面標示、交差点カラー化、くいちがい緩和）	平成30年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000741823.pdf			有り
平成31（2019）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道16号 古市場交差点	交通事故が多発しており、広域交通を担う幹線道路の交わる交通要所となっている交差点のうち、死傷事故率が高く、対策実施後も事故件数が増加傾向である交差点	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：対象箇所の選定 第2回：現地診断、要因分析、対策の方向性検討 第3回：対策実現性検討 第4回：対策案の評価・選定 第5回：対策案の改善、整備方針検討	・交差点のコンパクト化 ・交差道路の交差点内シフトの解消、車線構成の見直し、流出部位置の明確化、付加車線設置 ・右折滞留長の延長 ・信号現示の改良	令和2年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000790884.pdf			有り
平成31（2019）	千葉国道事務所 交通対策課	生活道路	君津市 泉・中島地区	新たに「生活道路対策エリア」に登録された地区から選定	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：対象エリアの概要説明 第2回：現地診断、対策メニュー検討 第3回：対策コンセプト検討	・幹線道路の走行環境改善 ・エリア内主要道路での流入抑制対策 ・保育園・小学校に隣接する道路を歩行者・自転車優先道路に改良し、流入抑制、速度抑制対策	令和2年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000790884.pdf	・エリア内を走行する自動車交通が減少 ・生活道路を利用していた交通の約15%が幹線道路に転換	小学校の統廃合による児童の交通安全対策の必要性から選定	有り
令和2（2020）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道357号 二俣交差点	事故危険区間かつ主要渋滞箇所該当する候補のうち、重傷事故の発生件数が多い二俣を選定	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：候補箇所決定 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策案立案 第4回：とりまとめ	・道路照明の追加 ・横断歩道直交化 ・左折路設置 ・市道線形改良、直進2車線化 ・中央ゼブラ帯設置 ・転回路の設置 ・信号視認性改良、現示改良	令和2年度 第2回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000827605.pdf			有り
令和3（2021）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道6号 柏駅西口交差点	交通事故が多発しており、歩行者や自転車の事故割合が高く、歩行者・自転車交通量が多い都市部の鉄道駅付近の交差点	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：対象箇所の選定 第2回：現地診断、要因分析、対策の方向性検討 第3回：対策案立案 第4回：対策案の改善・評価	・地下道屋根側面の構造変更 ・自転車通行帯の整備 ・巻込み部の安全対策 ・照明施設の改良 ・横断自転車への安全対策 ・車線分離帯の設置 ・信号現示の改良	令和3年度 第1回「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」 https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000834026.pdf			有り
令和4（2022）	千葉国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道357号 ポータルリーナ前交差点	重大事故が発生しており、交差点形状に課題がある交差点の中から、R3事故件数が管内ワースト1位の交差点	学識経験者4名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	第1回：候補箇所決定 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策案立案 第4回：とりまとめ	・中央分離帯の縮小/拡大 ・信号現示改良 ・右折指導線の設置 ・巻込み形状の改良 ・自転車通行空間の整備 ・案内表示の改良 ・左折車線の延伸			歩道上での事故が多発している問題点に対して、横断者と右左折車の交錯を解消するため、交差点構造と信号現示の組合せ対策を提案	有り
平成29年度（2017）	東京国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道254号 熊野町交差点	管内の事故ワースト交差点として幹線道路（R254）の交差道路（都道）がアンダーパス構造の交差点面積の大きな交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名 交通管理者 道路管理者	学識経験者	3回 第1回：事前検討、現地診断 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策立案	・右折レーン延伸 ・車線構成の見直し ・アンダーパスへの誘導策			東京国道事務所としてはじめての取り組み	有り
平成30年度（2018）	東京国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道20号 四谷四丁目交差点	管内の事故多発箇所として幹線道路（R20）の5枝交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名 交通管理者 道路管理者	学識経験者	3回 第1回：事前検討、現地診断 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策立案	・交差点コンパクト化				有り
平成31年度（2019）	東京国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道4号 千住宮元町交差点	管内の事故多発箇所として幹線道路（R4）の斜め交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名 交通管理者 道路管理者	学識経験者	3回 第1回：事前検討、現地診断 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策立案	・交差点コンパクト化				有り

実施年度	実施機関	対象道路	対象箇所	箇所特性	診断員	オブザーバー	実施回数、内容	対策メニュー案（診断員提案）	対策図	対策効果	備考	道路安全診断小委員会とのかわり
令和3年度 (2021) 令和4年度 (2022)	東京国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道254号 板橋中央陸橋交差点	管内の事故多発箇所として幹線道路 (R254) の5枝交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名 交通管理者 道路管理者	学識経験者	3回 第1回：事前検討、現地診断（2021年度実施） 第2回：現地診断、要因分析（2022年度実施） 第3回：対策立案（2022年度実施）	・従道路の取り付け位置の変更 ・交差点コンパクト化				有り
平成27年度 (2015)	大宮国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道17号 坂田交差点 国道16号 加倉南交差点付近 国道4号 新番町交差点	対策後においても交通事故が多発する箇所、管内ワースト箇所、危険箇所が連続する区間	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）3名	学識経験者	第1回：事前検討 第2回：現地踏査 第3回：要因の抽出・対策の方向性 第4回：対策案の確認（現地） 第5回：対策案の確認（室内会議）					有り
平成28年度 (2016)	常陸河川国道事務所 道路管理第二課	幹線道路	国道6号 二段階横断施設の検討	幹線道路2車線区間において、歩行者横断時の死亡事故対策としての二段階横断施設の設置箇所や構造等に関して検討	学識経験者3名	交通管理者	準備会：現地踏査・室内会議（概要説明） 第1回：1箇所の現地踏査、室内会議 第2回：室内会議（設計の確認、追加1箇所の状況報告） 第3回：追加箇所の現地踏査、室内会議（安全対策（交通島形状）等の検討） 第4回：室内会議（設計案の確認、効果検証方法の検討）	・二段階横断施設			設置検討事例が少ない二段階横断施設に対して、交通工学の専門の知識を活用して、設置タイプや横断歩道の必要性も含めて検討を実施	有り
令和2年度 (2020)	名古屋国道事務所 交通対策課	幹線道路	国道153号 植田一本松交差点 国道19号 高岳交差点	名古屋国道管内の死傷事故率（H27-H30）ワースト箇所かつ道路利用者からの着目度が高い交差点 植田一本松交差点：ワースト3位 高岳交差点：ワースト7位	学識経験者5名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者 道路利用者関連団体の代表者	-	道路安全診断 第1回：事前ミーティング、診断内容確認、現地点検実施、問題点抽出、対策方針 第2回：事故要因・対策検討 第3回：対策検討・確認	■植田一本松交差点 ①追突事故対策（信号運用変更（現示見直し）、交差点コンパクト化、案内路面表示、案内標識の改善、注意喚起、植栽撤去）、②自転車（交差点コンパクト化、注意喚起）③右折事故対策（区画線復旧、案内路面表示、信号運用変更（右直分離信号））④交差点内（交差点コンパクト化、カラーゼブラ） ■高岳交差点 ①追突事故対策（交差点コンパクト化、車線運用変更、注意喚起、案内標識の改善）②自転車（二段階停止線、植栽撤去、交差点コンパクト化、左折ゼブラ、自転車専用信号、自転車クリアランス時間、自転車レーン整備）③人対車両（二段階横断、青時間セパレート）④交差点内（区画線復旧）			無し	
令和2年度 (2020)	岐阜国道事務所 管理第二課	幹線道路	国道21号 西部本郷交差点	R元年度の物損事故件数も含めた総事故件数が県内ワースト1位。岐大バイパス立体区間の端部であり、最初の信号交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）2名	学識経験者	第1回：事前説明、現地踏査 要因抽出、対策の方向性 第2回：対策検討・確認	■追突事故対策 カラー舗装、減速ドットライン、注意喚起看板・路面表示、車線の方向別カラー化、案内標識の改善、予告案内標識の設置、LED情報板を用いた追突注意喚起 ■横断者と右左折事故対策 左折カラー舗装、ガードパイプへの自発光デリネーター、交差点コンパクト化、ガードパイプへの変更	第3回JSTEシンポジウム http://www.iste.or.jp/anzen/files/03-01.pdf		有り	
令和2年度 (2020)	兵庫国道事務所 管理第二課	生活道路	兵庫県南あわじ市 市小学校地区	生活道路対策エリア 小学校通学路を含む通過交通の流入が多いエリア	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者	-	2回 安推連アドバイザー現地検討会 第1回：現地視察、要因分析 第2回：対策検討	・カラー舗装 ・信号視認性改良			交通科学 Vol.51, No.2 (2020) https://www.jstage.jst.go.jp/article/koken/51/2/51_02/_pdf/-char/ja	無し
令和3年度 (2021)	兵庫国道事務所 管理第二課	生活道路	兵庫県明石市 大道町・硯町地区	ゾーン30プラス 細街路交差点が多く、通過交通の流入が多いエリア	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者	-	2回 安推連アドバイザー現地検討会 第1回：現地視察、要因分析 第2回：対策検討	・スムーズ横断歩道 ・交差点ハンブ ・カラー舗装 ・注意喚起法定外看板				無し
令和3年度 (2021)	兵庫国道事務所 管理第二課	幹線道路	国道2号 明石駅前交差点	事故危険箇所 交差点内や流入部で事故が多発しており、主要渋滞箇所にも指定されている交差点	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者	-	2回 安推連アドバイザー現地検討会 第1回：現地視察、要因分析 第2回：対策検討	・拡幅（車線増設、歩道拡幅） ・交差点改良	https://www.kkr.mlit.go.jp/hyogo/introduction/press/pdf_2020/R30329.pdf	https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/theses/2022/ol9a8v00005741p-att/anzen1-8.pdf		無し
令和3年度 (2021)	名古屋国道事務所 交通対策課	生活道路	愛知県豊山町 志水小学校地区	生活道路対策エリア 事故が多発しており、通過交通の流入が多いエリア	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者	-	1回 合同交通安全対策検討懇話会 第1回：要因分析・対策検討	・交差点ハンブ ・狭窄 ・信号改良（センサー感知制御）			https://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/2022kannai/pdf/te09.pdf	無し
令和4年度 (2022)	名古屋国道事務所 交通対策課	生活道路	愛知県大府市 北山小学校地区	生活道路対策エリア 事故が多発しており、通過交通の流入が多いエリア	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）1名 交通管理者 道路管理者	-	2回 合同交通安全対策検討懇話会 第1回：要因分析 第2回：対策検討	・ゾーン30 ・スムーズ横断歩道 ・ハンブ ・カラー舗装				無し
令和2年度~3年度 (2020~2021)	船橋市役所 建設局道路部 道路計画課	生活道路	千葉県船橋市 習志野台地区	既存のゾーン30エリア 交通ビッグデータ見える化協議会で議論された抽出方法に基づいて、ETC2.0データと交通事故データ等を用いて選定。 具体的には、ゾーン30によって対策済エリアであるものの、エリア内の一部で、通過交通の流入が多く、地域から追加対策の要望が強いエリア	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）1名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	3回 第1回：現状把握 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策立案	・渋滞発生交差点における個別改良（右折レーンの検討など） ・コミュニティ道路化（物理的デバイス：交差点ハンブ・入口狭さく、路面標示：カラー舗装・グリーンベルト） ・グリーンベルト	https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/koutsu/007/p098638.html		船橋市役所としてはじめての取り組み。また、JSTEとして、基礎自治体からの道路安全診断の受託の第1号。	有り

実施年度	実施機関	対象道路	対象箇所	箇所特性	診断員	オブザーバー	実施回数、内容	対策メニュー案（診断員提案）	対策図	対策効果	備考	道路安全診断小委員会 とのかわり
令和2年度～3年度 (2020～2021)	船橋市役所 建設局道路部 道路計画課	生活道路	千葉県船橋市 塚田台地区	ゾーン30 交通ビッグデータ見える化協議会で議論された抽出方法に基づいて、ETC2.0データと交通事故データ等を用いて選定。 具体的には、細街路が多いにもかかわらず、通過交通の流入が多く、事故発生等の危険なエリアとなっており、地域からもゾーン30及び交通安全対策の要望の強いエリア	学識経験者3名 設計技術者（交通安全）1名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	3回 第1回：現状把握 第2回：現地診断、要因分析 第3回：対策立案	・事故多発箇所でのピンポイント対策（交差点改良及び交差点歩車分離化） ・コミュニティ道路化（路面標示：カラー舗装・グリーンベルト） ・グリーンベルト	https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/koutsu/007/p098638.html	https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/koutsu/007/p112592.html		有り
令和4年度 (2022)	船橋市役所 建設局道路部 道路計画課	生活道路	千葉県船橋市 前原地区	ゾーン30プラス 交通ビッグデータ見える化協議会で議論された抽出方法に基づいて、ETC2.0データと交通事故データ等を用いて選定。 具体的には、通過交通の流入が多く、事故発生等の危険なエリアとなっており、地域・学校からもゾーン30プラス及び交通安全対策の要望の強いエリア	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）1名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	2回 第1回：現地診断、要因分析 第2回：対策立案	・交差点コンパクト化 ・交差点ハンプ ・入口狭さく ・カラー舗装 ・グリーンベルト ・「ゾーン30プラス」の路面標示と標識の設置	https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/koutsu/007/p109670.html			有り
令和4年度 (2022)	船橋市役所 建設局道路部 道路計画課	生活道路	千葉県船橋市 本町地区	ゾーン30プラス 交通ビッグデータ見える化協議会で議論された抽出方法に基づいて、ETC2.0データと交通事故データ等を用いて選定。 具体的には、通過交通の流入が多く、事故発生等の危険なエリアとなっており、地域・学校からもゾーン30プラス及び交通安全対策の要望の強いエリア	学識経験者2名 設計技術者（交通安全）1名	学識経験者 交通管理者 道路管理者	2回 第1回：現地診断、要因分析 第2回：対策立案	・交差点ハンプ ・入口狭さく ・カラー舗装 ・グリーンベルト ・「ゾーン30プラス」の路面標示と標識の設置	https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/koutsu/007/p109670.html			有り